

北方領土の返還実現に関する提言

北方領土問題は、我が国における戦後最大の懸案事項であり、北方領土の返還実現は、全国民の多年にわたる悲願である。返還要求運動の中心を担ってきた元島民の高齢化も進んでいることから、一刻も早い領土返還に向けた戦略的環境づくりを推進することが必要であるが、こうした中、メドヴェージェフ・ロシア大統領が国後島を訪問したことは、我が国国民の感情を傷つけるものであり、誠に遺憾である。

一刻も早い領土返還に向け、国は、次の事項について積極的な措置を講じられたい。

1. 今回の事態を重く受け止め、毅然とした対応をとるとともに、北方四島は日本固有の領土とする基本的立場を改めて内外に主張すること。
2. 一日も早い領土問題の解決と平和条約締結に向け、国内外世論の喚起に努めつつ強力な外交交渉を行うなど、引き続き最大限の努力をすること。
3. 北方領土問題に係る啓発活動を強化するとともに、返還運動の後継者育成と青少年教育に努めること。
4. 早期返還に向けた戦略的環境づくりのため、北方四島交流事業をはじめ、北方墓参、自由訪問等の交流等事業を着実に推進すること。
5. 北方領土周辺海域における漁業の安全操業の実現について、万全を期すこと。